

2023 年度 大気中水銀バックグラウンド濃度等の モニタリング調査結果について



環境省では、国内の発生源による影響を直接受けにくい地点(バックグラウンド地点)である沖縄県辺戸岬及び秋田県男鹿半島において、大気中水銀濃度等のモニタリング調査を実施し、2023 年度の結果を公表しました。この調査は 2007 年度より毎年行われています。

2023 年度の調査では、沖縄県辺戸岬及び秋田県男鹿半島において、指針値を十分下回り、これまでの結果とも大きな乖離はありませんでした。

大気中の形態別水銀の合計の年平均値は、辺戸岬において 1.6 ng/m³、男鹿半島において 1.6 ng/m³ であり、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針値(年平均値 40 ng/m³)を十分下回る値でした。

また、降水中的水銀濃度の年平均値は辺戸岬において 4.0 ng/L、男鹿半島において 5.3 ng/L でした。辺戸岬は過年度の測定値の範囲内でしたが、男鹿半島は 2016 年度以降の最低値となりました。

当社では、水銀の分析について今まで多くのお客様からご依頼を頂くと共に、多検体、短納期の体制で行っております。是非お任せ下さい。

詳しくは、当社水銀分析担当者(フリーダイヤル 0120-01-2590)までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2024 年 9 月 6 日付 環境省報道発表資料](#)

